

# PAUL CARTY

ポール・カーティさん

アメリカ・フロリダ出身。去年の6月に来日。  
アメリカでは高校の英語教師やヘルスフーズショップのマネージャーを経験。現在はTime T.I大阪で英会話の教師を勤める。

## 瑞光院

観光客で賑わうということのない、ちいさな神社。  
ノートルダム女学院中学より東、鹿ヶ谷の急な坂を上ったところにひっそりと存在する。毎月28日には108本の護摩木を燃やす。隠れ家的な静かなたたずまいはひとりで散策などするにはぴったりである。



長身が印象的なポールさんは日本へ来て半年と少し。「日本では京都がいちばん美しい」と聞いてやって来た。「日本人が礼儀正しいというのは知っていたけど本当に感心する。特にお店の店員の人は丁寧だね。ニューヨークじゃこっちはかないよ」。彼が京都へ来て驚いたのは電車。「京阪トレイン/なんなってテレビがついてるんだもの。初めて見たときは驚いたな」。それともうひとつ、「不思議に思うのは日本の女性。どう見てもちゃんとした大人なのに皆とってても声がカン高い。それもわざとじゃないかと思ってしまうくらい不自然な感じ。これってどういうことなのか」と、逆に質問されてしまったけれど、確かに外国人から見ると日本女性のプリッコはただのCHILD・LIKE（こどもっぽい）にしか見えないようだ。現在は英会話教師としていろんな日本人生徒と接する機会が多く忙しい彼だが、ひとりで考えごとなど出来るっておきの場所としてあけてくれたのが鹿ヶ谷山・瑞光院。白川丸太町からノートルダム女子中学を越えて、随分昇ったところの山の中にある。川のせせらぎが心地よく、ほとんどひと気のない静かなこの場所は、なるほどひとりで来るにはぴったりといえそう。「ね、とってもいいところだし」とポール。将来をたずねてみると、あと一二年は日本にいて、その後はアメリカで大学の修士課程を取りたいとか。「日本では給料もいいし、いろんな経験ができるから大満足」という彼のたったひとつの不満はというと、ベジタリアンのためのレストランがほとんどないこと。そう、彼は6年ほど前からベジタリアンだそうで、「ニューヨークはベジタリアンのためのヘルスフーズの店が多いし、普通のレストランでもたいていベジタリアン用のメニューがあるんだよ。だからこっちでの食事はけっこう大変。自炊だっちゃんとしてるよ(笑)」。残念ながらここ日本は、ベジタリアンが増えるにはあまりにも美食の誘惑(ア)が多い国のようで、ポールの悩みはこしほらく続きそうです。

# New York Wiseguy

There are many fascinating traditions in Japan. I hope the young people continue these traditions, and maybe even enrich them. These old customs and crafts are easy to forget in a modern wealthy country. Perhaps in an environment of material abundance less but more deeply appreciated and experienced consumption is best.

## ●ワンポイント英語●

So don't worry about the latest CD technology, live simply and follow the long breath.

最新のCDなどの科学技術的なことにこだわるのもいいけれど、のんびり、自然に生きてみることもよい。

山菜とり、魚釣り、ハイキング キャンプ etc  
全天候型テニスコート二面

小鳥の鳴き声で 目をさます



京都府  
あやべ青少年山の家

京都府綾部市陸寄町今竹10  
TEL.0773-55-0443 FAX.0773-55-0643